

第49回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

～神田明神・湯島聖堂・ニコライ堂・明治大学博物館～

当番世話人 櫻井 實

第49回歴史&ハイキング例会は猛暑日の下、令和7年7月24日（木）に実施しました。JR 中央線・御茶ノ水駅の聖橋口新駅舎に期待を寄せられた方も多く9名が参加されました。まずJR御茶ノ水駅聖橋口改札口に午前9時30分に集合、昔の聖橋口駅舎から様変わりの駅を確認。



- ・ JR 中央線御茶ノ水駅 聖橋口駅舎
* 2023年12月3日（日）初電から
使用開始

その後、神田川を跨ぐ聖橋は「二つの聖堂（湯島聖堂とニコライ堂）を結ぶ橋である」ことから命名された。

聖橋を渡ってすぐの交差点を右折すると 50m先左側角に、甘酒で有名な天野屋があり、そこから緩い坂を上り髓神門をくぐって社殿に続く。 神田明神は天平2年(730年)に創建され、江戸の総鎮守として崇敬された。 神田明神内の茶店「EDOCCO」にてお土産購入と休憩。空調も程よくきいて立ち上がりたくない気分でした。

今回は炎天下を避けて、日陰を歩きながら水分補給して近場を探索しています。



- ・ 神田明神で しばし休息

神田明神を出て、道路の向かい側が湯島聖堂ですから徒歩でもわずかの距離でした。湯島聖堂にある孔子像は高さ 4.6m、重さ 1.5t で世界一の石像です。寛政2年(1780年)に江戸幕府直轄の教育機関として、昌平坂学問所が設立された。池波正太郎の「剣客商売」でも昌平坂は題材になっていました。



昌平坂を上って、聖橋を御茶ノ水駅方向へ行き、名医で有名な「井上眼科病院」を右に見ながら、その先を右折すると、直ぐにニコライ堂が見えてきました。



正式には、日本正教会の首座主教座大聖堂(ロシア正教会の聖堂ではない)。
1891年竣工のニコライ堂は日本初めてにして最大級のビザンチン様式の教会。

日本に正教会の教えをもたらしたロシア人修道司祭・聖ニコライに由来する。
いよいよ、暑い中、空調の効いた明治大学博物館へと明大通りを下って、リバティタワーへ。
高さ 120m、23 階建ての建物の 17 階にはスカイラウンジ眺があり、日・祭日以外は 11:00～15:00
営業。
リバティタワー地下一階に博物館・阿久悠記念館があり、日本の歴史・文化や音楽好きな人には、
5,000 曲も作曲した阿久悠記念館で楽しめます。



学生の気分に戻って、明治大学リバティタワー前にて集合写真を撮影しました。



＊参加者（敬称略） 前列：櫻井 實・平木行雄・遠藤哲也・六角 學
後列：小口健一郎・木頃勝紀・住田勝治・岩崎正憲・山田昌之

お茶の水付近は学生街で、楽器店や本屋さんが多く立ち並び東京の他の街とは違う雰囲気です。
正午近くになり、お腹も空いてきたので御茶ノ水駅付近の「てけてけお茶の水駅前店」で昼食。
ランチ定食があり、多くの人は生姜焼き定食にしましたが、焼き肉の量が多く、ビールを飲んでつ
まみにしながら完食した人もいました。
学生街での半日は炎天下、久しぶりに楽しく飲食しました。